

自分も人も大切に 道標ない旅

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和4年度 第7号
2022.5.10発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 4月28日(木)に全校あげて遠足を実施できました。 ◆◆



雲の隙間からたまに陽の光が差し込む遠足日和になったこの日、1・6年は逗子海岸に、2・5年は披露山公園に、3・4年生は森戸海岸にそれぞれ遠足を実施いたしました。次第に日常を取り戻しつつある教育現場において、遠足を滞りなく実施できたことは良かったと感じております。とくに、上級生が下級生のお世話を心がける経験を積めることにも大きな付加価値のある行事です。それぞれいい意味での成果を上げてくれたようです。2回のお弁当用意へのご協力ありがとうございました。

写真は披露山公園を目指す2・5年生の様子。

遠足実施後(当日)の反省では、2年生には披露山公園は遠すぎるのでは?といった理由で、再考の必要性もあるといった結論になっていました。確かに遠いところまで一行はよく頑張っていたと思います。

◆◆ いよいよ授業参観を実施いたします。 ◆◆

残念なことに、GW期間もあって、学校はコロナとは無縁の場所のように思っている方も多いかもしれませんが、本人或いは、ご家族の感染による欠席連絡は、やや増加傾向が見られます。だからこそ、保護者の皆様のご協力が必要になっていきますが、授業参観を設定いたします。

いずれの日も2時間目・3時間目に授業参観を実施いたします。

2時間目(9:40):出席番号奇数の保護者の方

3時間目(10:45):出席番号偶数の保護者の方

に分けることで、教室の密状態を少しでも軽減していきますが、100%近い参観が予想されます。人数を半減してもかなりの混雑があるかもしれません。指定させていただいた時間割を守って、ご参観ください。

5月31日(火)6年

6月1日(水)4年

2日(木)3年

3日(金)5年

6日(月)2年

7日(火)1年

※保護者の方は各家庭1名でお願いいたします。体調を検温で把握し、マスク着用の上、ご参観ください。

◆◆ 本校に、本の寄贈がありました。 ◆◆



保護者の方から、「ママのスカート」という翻訳絵本の寄贈がありました。翻訳されたのは木村カエラさん。木村カエラさんといえば、それだけでも有名な方ですが、Perfume(パフューム)が、知られるようになったきっかけをラジオ番組で作ったこと*1でも知られています。聞けば、何と保護者の方とご兄妹(ご兄妹?)とのことで、工夫のある、しゃれた素敵な絵本を寄贈いただきました。1冊を図書館にもう1冊は校長室に置いておきます。保護者の方でも興味のある方は、校長室にお越しください。*1:2007年3月~4月に木村カエラさんがパーソナリティを務めるJ-WAVEの「OH!MY RADIO」で、4週にわたってパフュームの「チョコレート・ディスコ」を何度もオンエアしたこと。ポリリズムのブレイク4ヶ月前に、カエラさんが注目していた点で特筆される、パフューム伝説の始まりと言われる逸話です。

(スママセン、個人的な趣味で貴重な紙面を使ってしまいました。どうかお許しを!)

◆◆ 今年もこの時期になりました。 ◆◆

校庭から1年生の歌声が聞こえてきます。「やねよ～りた～か～い、こいの～ぼ～り～」

歌声につられた校庭に出てみると、各クラスで作った3つのコイが風になびいて、気持ちよさそうです。1年生児童の元気な声が青空に吸い込まれていく爽やかな5月です。

歌だけでなく、鯉のぼりにつきものの、「吹き流し」のことなど、先生方の説明もしっかり聞きながら、1年児童も素敵な陽気を満喫しているようでした。鯉のぼりは各クラスごとに、教室で飾られるはずです。授業参観の折にご覧ください。



◆◆ 引き渡し訓練を実施いたします。 ◆◆

5月16日(月)は、3年ぶりに引き渡し訓練を実施します。晴れていれば、密を避けるために校庭での引き渡しを実施する予定です。(雨天時は引き渡し場所は所属クラスの教室となります。)

引き渡しの場面を実際に想定すると、葉山町自体が「震度5弱」以上の地震に襲われたときが考えられます。「震度5弱」以上は、本来臨時休校の目安です。在校時に罹災した場合は、町内の安全確認も必要なので、児童をむやみに下校させるわけにはいきません。必ず「引き渡し」になると考えてください。震度5弱程度なら町や長柄地区の被害も少なく、自宅が安全と考え、引き渡した後ご自宅に戻るご家庭が多いと推測されます。このケースの訓練(練習)と捉えていただくのが良いかと思えます。おそらく、メール配信も可能な状態で、引き渡しの実施を伝えることになると思います。(もし、メールがなくても「引き渡し」と想定してください!)

葉山町が震度6以上を経験した場合は、引き渡し場所は体育館、引き渡しが終わったご家族がそのまま長柄小での避難生活に入っていくケースもあると予想されます。この場合は、避難所運営委員会が組織され、避難されてきた方が協力し・助け合って、避難所生活を支え合っていくことが期待されます。

大雨による災害が予想されるケースでは、まず児童をそんな状態で学校が抱えないで済むよう、管理職としてしっかり判断していきたいと思えます。大雨状況では長柄小学校の立地は土砂災害を含め大変危険な状況を迎えかねないと考えています。引き渡しが容易に行える立地ではないのです。引き取りに来た大人が災害に巻き込まれかねない大雨に対しての脆弱性を常に念頭に置いて判断したいと考えています。



◇◇ 先日大阪科学技術館にてサイエンスショーを行ってきました。 ◇◇

4月23日・24日と大阪科学技術館に行ってきました。私のもっぱらの興味は、今の大阪のマスク状況です。行き・帰りの新幹線では、車内放送にて「マスク着用」と、「大きな声での会話を控えるよう」要請されます。新大阪に着いて、新大阪駅を歩いても、地下鉄に乗り換えても、難波の地下街を歩いても、道頓堀・心斎橋の繁華街を歩いても、たまの例外を除き、みんなマスクをしています。東京・横浜のマスク状況よりも「ユニバーサル・マスクング(自分が感染源にならないよう人ごみに入る時は、マスクを常に着用するというもの。)」の考えが浸透しているといった印象が残ります。かなり危険な状態まで医療機関や、ベッド状況が追い込まれてしまった大阪だけに、皆さんの意識に「繰り返せない」という意識が強くあることが想像できました。サイエンスショーも「マスク着用」で実施されました。

皆さんはこのゴールデンウィークにどんな印象を持たれたのでしょうか。連休中にいろんな土地での事情を目の当たりにされて、個人的に感想を持たれた方も多いかと思います。「第5号」では、7月過ぎたら「マスク解除」という考え方を紹介しました。「いつかはマスク無しで!」これは皆さん願っていることと思いますが、「いつから!?!」かが、重要になってきていると思えます。

